

肝細胞癌の位置と肝動脈化学塞栓療法の効果の関連性についての後ろ向き検討に関する研究

2011年1月から2015年12月までに肝細胞癌のために肝動脈化学塞栓療法の治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「肝細胞癌の位置と肝動脈化学塞栓療法の効果の関連性についての後ろ向き検討に関する研究」という研究を行います。この研究は、2011年1月1日より2015年12月31日日本医科大学付属病院放射線科にて、肝細胞癌のために肝動脈化学塞栓療法の治療を受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：肝細胞癌の位置と肝動脈化が塞栓療法の効果の関連性についての後ろ向き検討に関する研究
研究期間：2016年10月21日（倫理委員会承認日）～2018年8月31日
研究責任者：日本医科大学付属病院 放射線科 村田 智

(2) 研究の意義、目的について

肝細胞癌の位置と肝動脈化学塞栓療法の効果との関連性が示されれば、術前画像診断において肝細胞癌の位置を把握することが、肝動脈化学塞栓療法単独での治療、あるいはラジオ波焼却療法や経皮的エタノール注入療法といった局所療法との組み合わせる治療など治療戦略の検討の際に一つの指標となりうる可能性があります。本研究は、肝細胞癌の存在する位置（肝門部からの近さの程度）と肝動脈化学塞栓療法の効果に関連性の有無を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について

2011年1月1日より2015年12月31日までに日本医科大学付属病院放射線科にて、肝細胞癌に対し肝動脈化学塞栓療法の治療を受けられた患者さんの術前のCT画像から肝細胞癌の存在する位置比の算出、術後6ヶ月のCT画像にて治療効果判定を行い、関連性の有無を検証します。術前の採血結果から肝機能も評価し、肝機能低下の程度と、肝細胞癌の位置と肝動脈化学塞栓療法の治療効果との関連性の有無についても検討します。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 放射線科 准教授 村田 智
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：4513
メールアドレス：genji@nms.ac.jp